学校番号	２１２

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　古典Ｂ」　（第一学習社）						
副教材等	新国語便覧　（第一学習社出版）・新日本文学史　（京都書房） 解析古典文法（桐原書店）・必修古典文法問題集　改定版（文英堂） シンプルスタイルシリーズ古文単語３０１　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・本文写し、意味調べ、口語訳などの予習を必ず独力でやりましょう。
・ネット上にあがっている口語訳は不正確な場合が多く、自分で考える力がつかないので、当然のことながら決して丸写しをしてはいけません。
・古文単語の小テストは毎回満点を取るつもりで臨みましょう。
・文法事項は暗記していることが前提です。その上で識別の仕方を学習します。

2　学習の到達目標

・古典に用いられている語句の意味や用法、および文の構造が理解できる。
・古典を読んで、内容や構成を展開に即して的確にとらえることができる。
・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察できる。
・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにできる。
・古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検（ノート、ワークシート等）			記述の確認および分析（ノート、ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	bc	d	e		
一学期前半	日記・物語	和泉式部日記 「夢よりもはかなき世の中」	○		◎	○	a:贈答歌を通して男女の心情を読み取るとともに、表現上の特徴を理解しようとしている。 d:比喩表現に気をつけながら、作者の心情を理解している。 e：贈答歌の特徴を理解している。形の上で紛らわしい語を文法的に識別できている。	a:行動の観察 d:記述の確認および分析、定期考査 e:記述の点検、定期考査
	物語	大鏡「花山天皇の出家」	○		◎	○	a:登場人物の境遇を読みとるとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている。 d:登場人物の人間関係や心情を読みとっている。 e：形の上で紛らわしい語を文法的に識別できている。基本的な敬語法を理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認および分析、定期考査 e:記述の点検、定期考査
一学期後半	物語	源氏物語 「住吉参詣」 「明石の姫君の入内」	○		◎	○	a:物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』についてより深く知ろうとしている。 d:場面の怪異性の描かれ方と登場人物の心情、行動を読みとっている。 e：基本的な敬語法について理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認および分析、定期考査 e:記述の点検、定期考査
二学期前半	漢文二　史伝	史記「鴻門之会」 句法	○		◎	○	a:著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。 d:話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読みとっている。 e：『史記』や司馬遷について理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認および分析、定期考査 e:記述の点検、定期考査

二学期後半	近世の小説・浄瑠璃	西鶴諸国ばなし 「大晦日は合はぬ算用」	○		◎	○	a:登場人物の考え方や生き方と、その背景にある社会構造について読み取ろうとしている。 d: 作者が「武士のつきあひ」をどのようにとらえているかを読み取っている。 e: 作者井原西鶴や、作品の歴史的背景を理解し、重要古語や助詞・助動詞の意味と用法を理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認および分析、定期考査 e:記述の点検、定期考査
	漢文	古体の詩「石壕吏」	○		◎	○	a:作者の境遇や時代背景と作品とのかかわりに対して理解を深めようとしている。 d:それぞれの詩について、作品の背景にある社会状況を読み取り、理解を深めている。脚注などを参考に本文を現代語訳している。 e:漢文訓読のきまりや基本的な句法への理解を深めている。押韻など詩の形式や表現について理解を深めている。	a:行動の観察 d:記述の確認および分析、定期考査 e:記述の点検、定期考査
三学期	随筆	枕草子 「ふと心劣りとかするものは」	○		◎	○	a:内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとしている。 d:筆者の美意識や機知を読みとっている。 e：形の上で紛らわしい語を文法的に識別できている。	a:行動の観察 d:記述の確認および分析、定期考査 e:記述の点検、定期考査
	漢文	欧陽文忠公文集 「売油翁」	○		◎	○	a:話の面白さを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。 d:登場人物の考え方を読みとっている。 e：基本的な句法・語法が理解できている。	a:行動の観察 d:記述の確認および分析、定期考査 e:記述の点検、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。